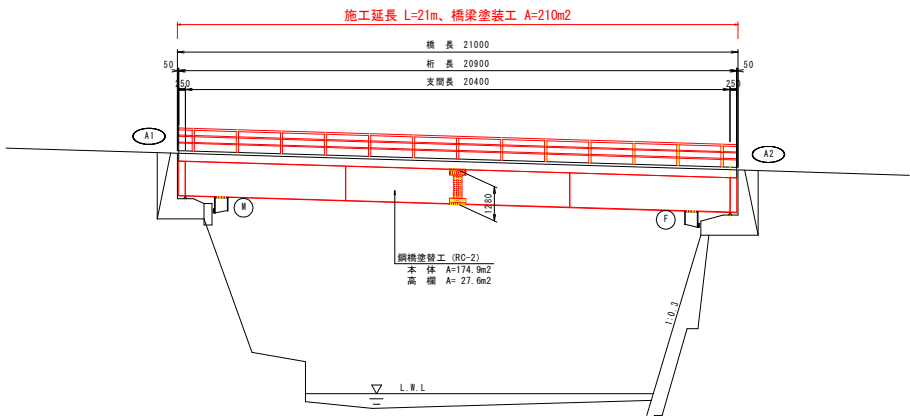
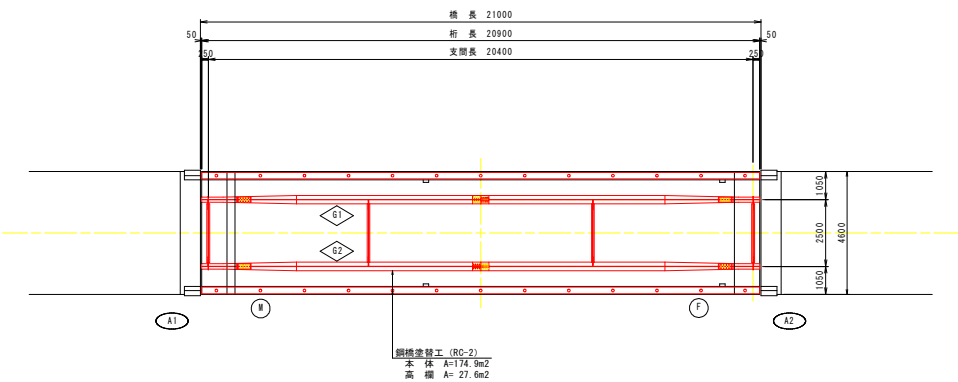


補修一般図

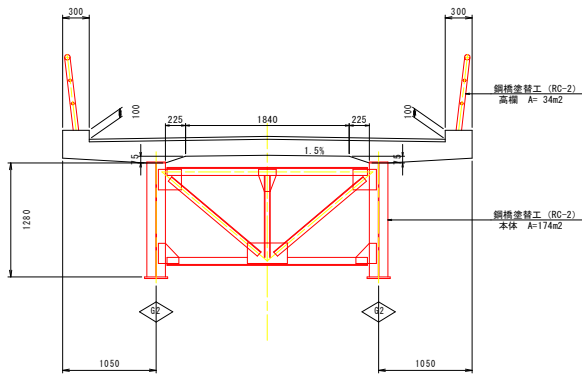
側面図 S=1:100



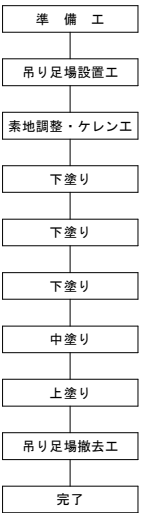
平面図 S=1:100



上部工断面図 S=1:30



(塗替え塗装工) 作業フロー



塗替塗装仕様・面積

塗装系は「鋼道路橋防食便覧 平成26年 3月／公益社団法人 日本道路協会」に示される「RC-II 塗装系（はけ、ローラー）」とする。

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装面積 (m ²)
素地調整	2 種		208.0
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	208.0
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	208.0
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	208.0
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	208.0
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	208.0

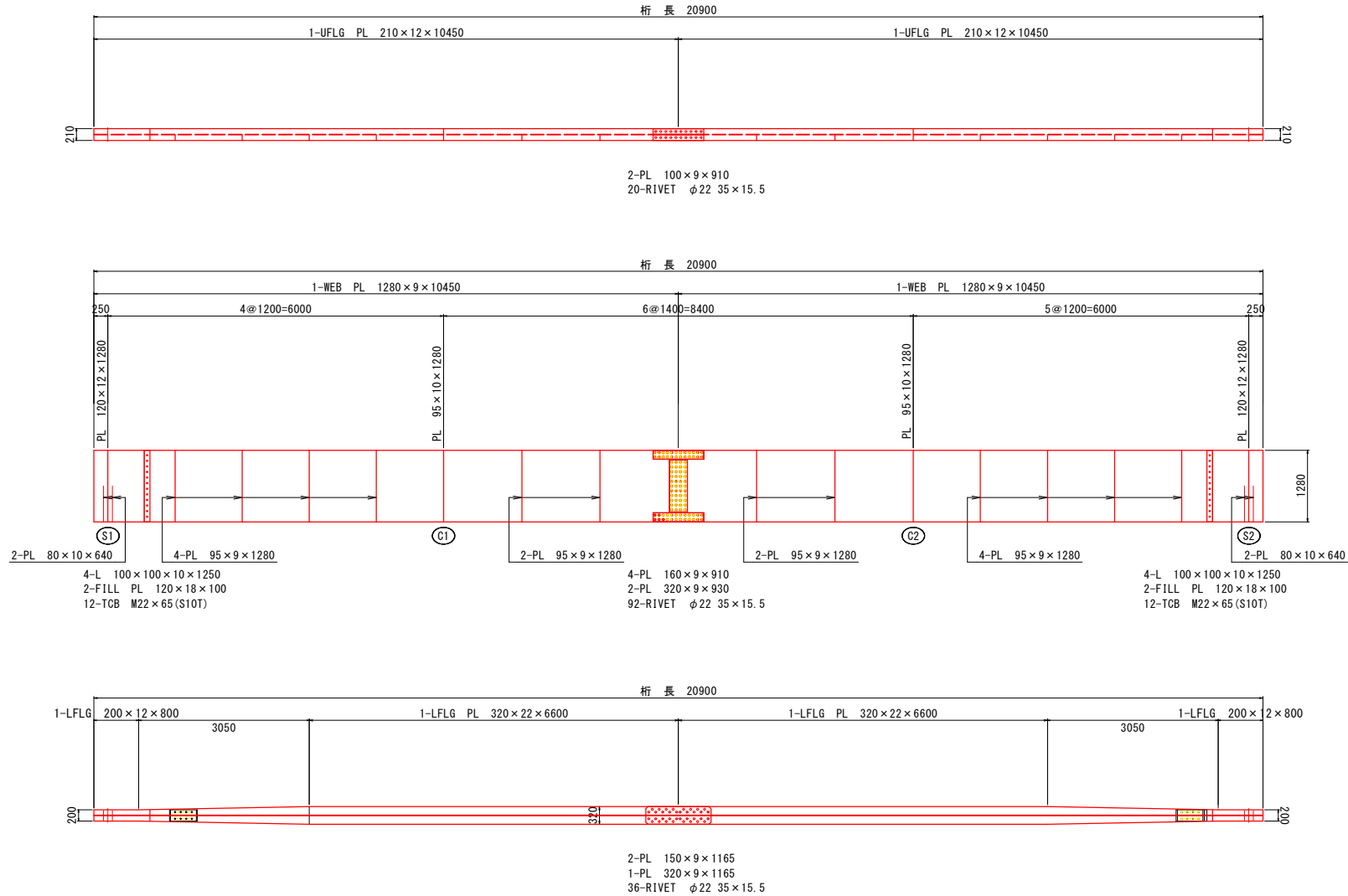
注記
1. ボルト頭部や部接板周辺は、道路橋塗装・防食便覧などに準拠して適切に処理すること。
2. 既設塗膜にはPCB及び鉛を含有しているため、すべて除去すること。
その除去は、剥離剤を用いて湿式で行うこと。

実施設計図面

工 事 名	R7馬士 上達小野橋 (川又橋) つ・半田高瀬 橋梁塗装工事 (担い手確保型)
路線名等	(一) 上達小野橋 (川又橋)
工事箇所	美馬郡つるぎ町半田高瀬
図 面 名	補修一般図
縮 尺	図示 図面番号 1 / 4
会 社 名	
事業者名	徳島県西部総合県民局土整備部く美馬>

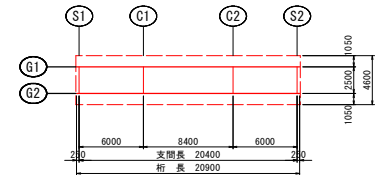
主桁詳細図 (G1, G2桁)

S=1:40



位置図

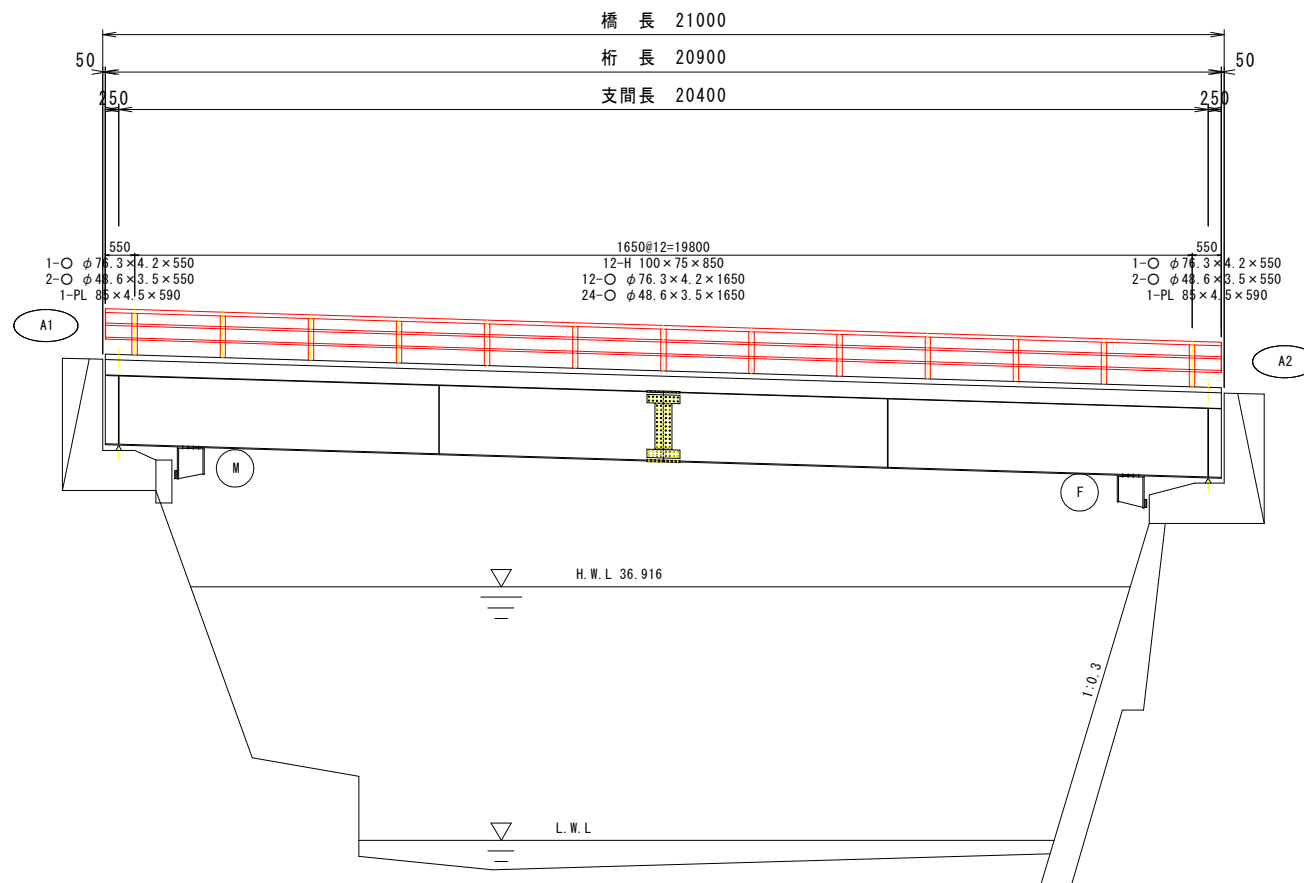
S=1:250



実施設計図面

工事名	R7馬士 上連小野線 (川又橋) つ・半田高清算 橋梁建設工事 (担い手確保型)		
路線名等	(一) 上連小野線 (川又橋)		
工事箇所	美馬郡つるぎ町半田高清算		
図面名	主桁詳細図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

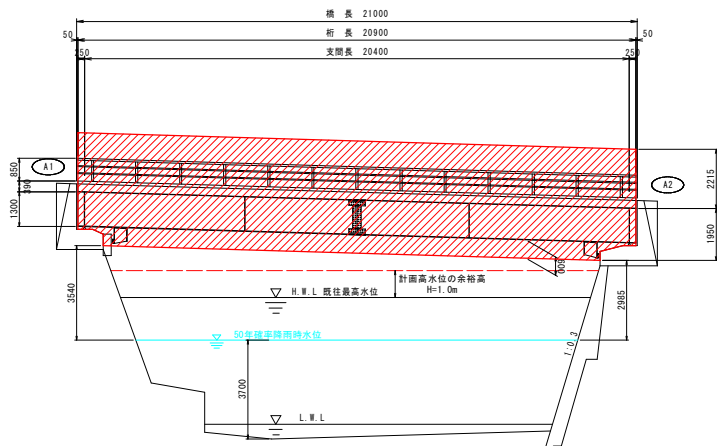
側面図 S=1:100



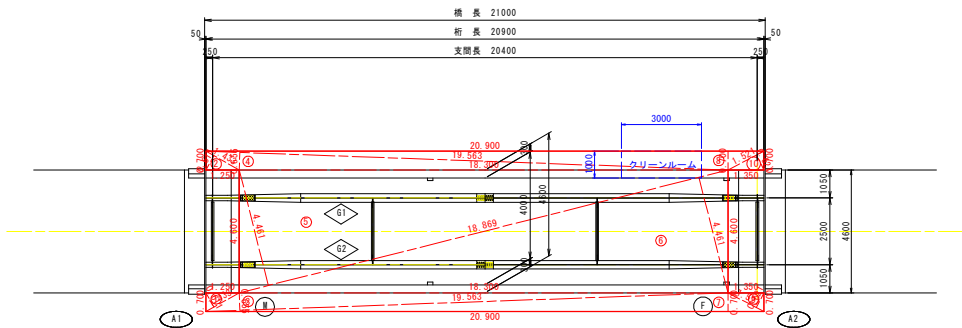
実施設計図面			
工 事 名	R7馬士 上連小野線 (川又橋) つ・半田高瀬 橋梁建設工事 (担い手確保型)		
路線名等	(一) 上連小野線 (川又橋)		
工事箇所	美馬郡つるぎ町半田高瀬		
図 面 名	側面図		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 4
会 社 名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

施工計画参考図
(川又橋)

側面図 S=1:100

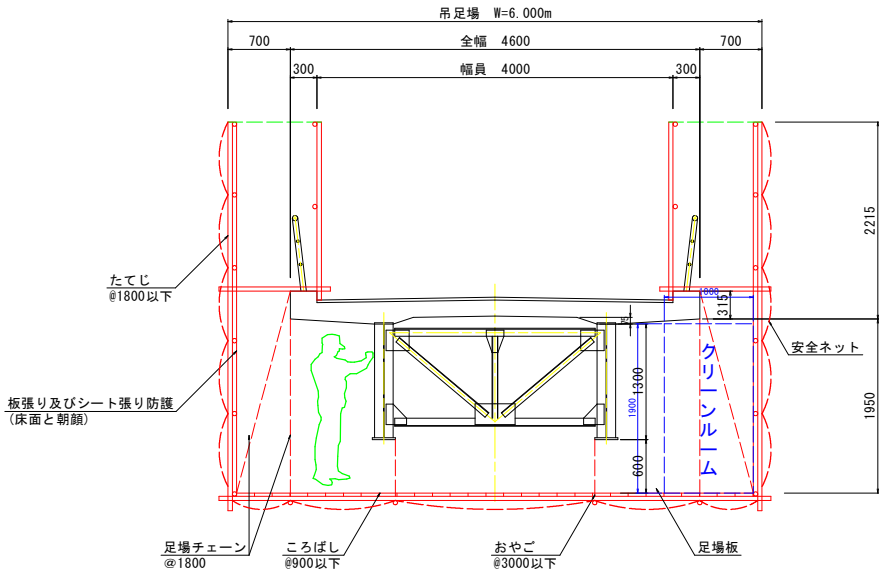


平面図 S=1:100

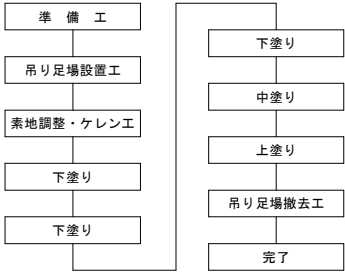


足場専有面積			
記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	1.433	0.611	0.876
2	1.433	0.611	0.876
3	19.563	0.655	12.814
4	19.563	0.655	12.814
5	18.869	4.461	84.175
6	18.869	4.461	84.175
7	20.900	0.700	14.630
8	20.900	0.700	14.630
9	1.521	0.621	0.945
10	1.521	0.621	0.945
倍面積 m2			226.880
面積 m2			113.440

構造図 S=1:30



(塗替え塗装工) 作業フロー



〈桁下作業の施工手順〉

1. 施工準備をする。
2. 足場を設置する。
3. 現地寸法等を計測する。
4. 下部補修工を施工する。
5. 塗替え塗装工を施工する。
6. 足場工を撤去する。
7. 後片付けを行い、施工完了とする。

(注記)

1. 吊り足場設置時は全面通行止めとし、前後に交通誘導員を配置する。
2. 吊り足場は想定する水位に浸からないよう設置し、設置時期については通年施工も可とするが原則は非出水期間とすること。

参考図

工事名	R7馬士 上達小野橋 (川又橋) つ・半田高瀬 橋梁塗装工事 (担い手確保型)
路線名等	(一) 上達小野橋 (川又橋)
工事箇所	美馬郡つるぎ町半田高瀬
図面名	施工計画参考図
縮尺	図示 図面番号
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>